大阪電気通信大学

産と学、文と理、基礎と応用、教育と研究･･･分けること自体がナンセンス！
常に新しいことに挑戦し、社会を先導するのが大学の役割！

	環　境	課　題	対　策
学内	工学部志望者減少 保守的意思決定の教授会 現状処遇を望む組合 P/L改善の必要性	工学部に代わる機軸の転換(機軸転換を迅速に実行していく手法の確立) 理事長の「暗黙知」を「形式知」にするための「科学的分析」に基づく手法の確立	理事長の有機的ネットワークを活用し、新分野における「科学的思考」をベースとしたカリキュラムを組成／総学生数は変えずにその内訳を再編成／情報工学科･メディア情報文化学科･医療福祉工学科･デジタルゲーム学科・アセットマネジメント学科など「日本初」学部・学科創設／理事長の思いを「行動」で見せる
学外	文理離反により、新産業創出停滞 小中高の「ゆとり・与えすぎ教育」による基礎(語学・計算)欠落と大学教育へのしわ寄せ(「半植民地教育」？)	すべての分野において、「科学的思考」をベースとした新産業創出が必要	地元都市再開発計画等を踏まえてもう一段踏み込んだ産業界との連携を画策中

「売り」「特徴」

☆文理融合

☆「日本初」の新分野学部・学科創設

☆全分野において「科学的思考」をベースとした新産業創出の役割を果たすことを志向している

☆自分のやりたいことは自分で見つける「校風」が息吹く可能性

キーワード

文理融合による「科学的思考」をベースとした新産業創出

具体的ニーズ

重点分野

健康
環境

連携対象となる企業技術

健康：「健康･福祉を“科学する”」風土は醸成されており、今回は「生体計測」を例示
環境：「ポイント」などインセンティブインフラに「環境」を切り口とした付加価値付けを提案

相談実務

相談の際の留意点

範囲を狭めず、「健康」「福祉」「環境」という切り口で営業展開する企業･また今後検討する企業に対して幅広く相談し得る体制にある

相談の手順

研究支援室(寝屋川キャンパス)へまずは、お問合せください。産学官連携コーディネータが内容を確認の上、該当教員とのコーディネーティングをいたします。
tel:072-820-3827(直)